

「すずしろ」は大根の事。春の七草の一つです。漢字で「清白」と書きます。清武の清と名物千切り大根で有名な町にちなんで名付けられました。

宮崎市きよたけ児童文化センター

2022

すずしろ

SUZUSHIRO

No.400

・清武総合支所

・四季の夢

ホテルさよ武・



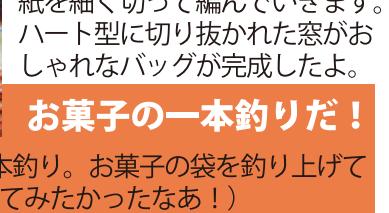
宮崎市清武体育館

きよたけ児童文化センター▼

・四季の夢

・宮崎市清武文化会館

この6月号で、すずしろが400号になりました！



紙を細く切って編んでいきます。ハート型に切り抜かれた窓がおしゃれなバッグが完成したよ。

お菓子の一本釣りだ！

最後に盛り上がったお菓子の一本釣り。お菓子の袋を釣り上げて楽しそうでした。（大人でもやってみたかったなあ！）

フェスタ工作の3日間 楽しかったね

●5/3
びろへんとスライム



まぜてまぜて色も付けてのびろのびろ！びろへん

●5/4
キラキラ！万華鏡



光に向かってのぞいてケルケルまわしたら、色が動いてキラキラ。とてもきれいでした。

●5/5
タンポポの壁飾り



紙で作ったタンポポは本物みたいでしょ！木の枠に取り付けて素敵な壁飾りになったよ。



子どもフェスタ スタート！受付に行列ができたよ！

お客様がずらりと並んで、大にぎわい！小学生に混じってお父さんやお母さんと一緒に小さい子たちも来てくれました。センターオリジナルの5つの工作に取り組んでいました。みんな楽しい時間が過ごせたようで喜んでいました。

2022
5月1日 おいでおいで 子どもフェスタ

Come Come Everybody!

楽しい、にぎわいの時間でした。



まるで本物！だね。



小さく切った水玉の布を折って一枚一枚、心を込めてカーネーションの花に。こんなのもらつたらうれしいよね。



わんちゃんが花束を捧げる飛び出すカード。お母さんにやさしいメッセージを書いていました。



最後に盛り上がったお菓子の一本釣り。お菓子の袋を釣り上げて楽しそうでした。（大人でもやってみたかったなあ！）

◎子どもたちの風景を写真にとって広報誌で使用する場合がありますのでご了承ください。



最近、児童文化センターに子どもと共に訪れるお父さんの様子がちょっと違う。絵本のコーナーで読み聞かせをする。おもちゃを借りて一緒に遊ぶ。子どもができないことを、やさしくサポートする。笑いながら公園で戯れてる、ケーキとは戯れていない。
ずいぶん変わってきたなあとと思う。息子を見ても幼稚園に送つて行つたり、買い出しをしたり、子どもたちとの散歩に付き合つたり、奥さんと食事に行つたりを、勤めもあるのに当たり前のようにこなしているのだ。メンズも子育ては当たり前になつて、「育メン」という言葉も無用のものになるに違ひない。いや、そういう事を願いたい。

はるか昔・・・といつても二〇一五年のこと。育メンという言葉が登場し、「男人も育児をするのが当たり前の事になる時代」がきた。さあパパも頑張ろう！”と謳つていたのだろう。
ここ児童文化センターでもアイロン講座やだつてでのコミュニケーション講座を開いた。しかし実際の子育てといえば、超具体的、おむつを替えたりお風呂に入れたり、緊急事態で病院に連れて行つたり、離乳食をこしらえたり、夜どおし泣く子をあやしたりなどなど家の全部が「たり」で繋がつてしまふほど休みなく続く。それを奥さん一人に任せせるわけにはいかない。責任は五分と五分だと言つのは簡単だが実行は難しい。今思えば私の子育ては、いい加減逃げ腰だったような気がしている。

T W i t t 館長

イクメン登場！

106